

# 多様な形状に対応する 超速硬化型スプレー防水

オルタックスプレーは吹付け後すぐに反応硬化するため、工期短縮を要求される現場の防水工事に最適です。専用スプレーマシンによる施工システムは、特殊形状の屋根、折板などの金属屋根、階段・廊下、複雑な凸凹のある屋上などの多様な形状に対応。シームレスで強靱な防水層を形成します。高品質かつ施工性に優れるスプレー防水の適用範囲を拡大し、新築・改修の仕様を充実させました。

## 機械化による施工効率大幅向上

専用機で材料をコントロールするため、常に安定した均一な状態での施工を実現します。また、温度調整システムによって材料を加温し、冬季および寒冷地における施工でも速硬化を可能にします。



(イメージ図)

## 物性バランスに優れた「高強度形」スプレー

オルタックスプレーFFは、強度・耐久性等、物性バランスに優れた塗膜性能を有しており、幅広い用途で信頼性の高い防水層を形成します。JIS A 6021 建築用塗膜防水材料のウレタンゴム系高強度形の認証を取得しています。(JIS A 6021 認証番号:TC 03 07 444)

## 速硬化型スプレーシステム

硬化速度が速いため吹付直後にタックフリーとなり、数分後には歩行が可能です。スプレー防水材料に加えて、プライマーから保護塗料まで速硬化型を取り揃えたトータルシステムとして、より速く確実な防水層形成を実現します。

### 物性

	JIS高強度形規格	オルタックスプレーFF
引張り強さ(N/mm <sup>2</sup> )	10以上	12.0
破断時の伸び率(%)	200以上	395
引裂き強さ(N/mm)	30以上	60
硬度(ショアA)	-	86
硬化物密度(Mg/m <sup>3</sup> )	-	1.0
荷姿	-	[FF]390kg/セット (主剤:200kg、硬化剤:182kg、トナー8kg) <hr/> [FF-S]35.12kg/セット (主剤:18kg、硬化剤:16.4kg、トナー0.72kg)

※数値は代表値であり、保証値ではありません。 ※物性値その他の詳細は、別紙試験成績表をご参照ください。



## 仕様番号の見方

<b>O</b>	<b>TL</b>	-	<b>20</b>	<b>Q</b>	-	<b>SP</b>	-	<b>C</b>
オルタック	工法		防水材使用量	保護塗料		防水材種別		仕上げ
	TK 金属屋根工法		20 2.0kg/m <sup>2</sup>	Q OTコートQQ		SP スプレー		C 保護コンクリート
	GS スタンド工法		30 3.0kg/m <sup>2</sup>	SC OTコートシリコンクール				CI 保護コンクリート断熱
	TL 密着工法		40 4.0kg/m <sup>2</sup>	C OTコートクール				FD 緑化システム
	SL 機械的固定工法		15 1.5kg/m <sup>2</sup>	S OTコートシリコン				(G-WAVE)
	TI 断熱工法			A OTコートA				
	TP 防湿層付断熱工法			TH SPサーモコート				
	TW 複合工法			HG 骨材				
				SS オルタックコートSS				

## 荷姿・スプレーの色



オルタックスプレーFF

- グレー
- グリーン\*
- イエロー  
オーカー\*

\*受注生産品 受注後納期は2週間以上です。  
※保護塗料の色は29ページをご覧ください。  
※各見本の色は印刷上現物と幾分の色差がありますのでご了承ください。

## 技術審査証明

BL 審査証明-059/一般財団法人ベターリビング

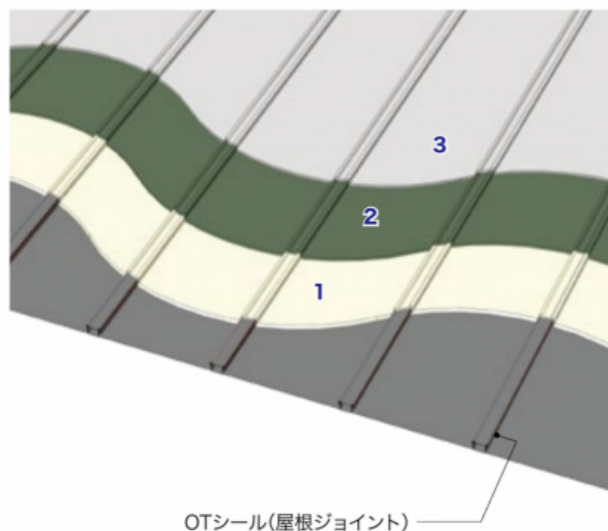
オルタックスプレー工法(OTL-30Q-SP仕様)は、JASS8で定義される「歩行」用途および、保護コンクリート仕上げに適用するものとして、建設技術審査証明を取得しています。詳しくは「概要書」をご覧ください。  
(営業担当までお問い合わせください。)



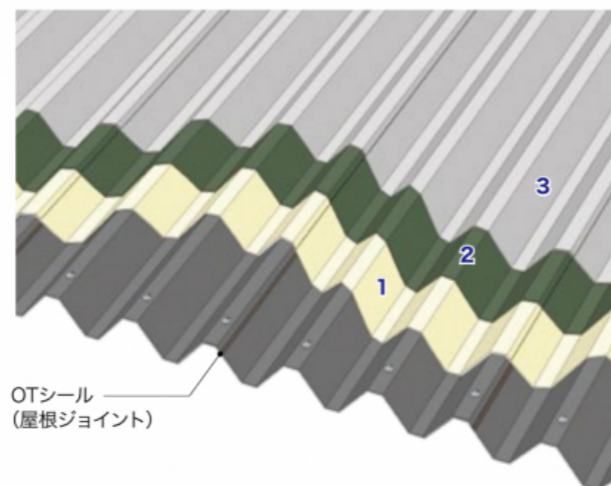


スプレー塗膜で金属屋根を覆い、防水機能と美観の回復を同時に実現

## OTK-15SC-SP ~高耐久・高反射仕上げ~



## OTK-15C-SP ~高反射仕上げ~



OTシール  
(屋根ジョイント)

OTシール(屋根ジョイント)

## OTK-15SC-SP

	(単位:/m <sup>2</sup> )
1	KYプライマー-エポ金属用 0.1kg
2	オルタックスプレーFF 1.5kg
3	OTコートシリコンクール 0.2kg

## OTK-20SC-SP

	(単位:/m <sup>2</sup> )
1	KYプライマー-エポ金属用 0.1kg
2	オルタックスプレーFF 2.0kg
3	OTコートシリコンクール 0.2kg

## OTK-30SC-SP

	(単位:/m <sup>2</sup> )
1	KYプライマー-エポ金属用 0.1kg
2	オルタックスプレーFF 3.0kg
3	OTコートシリコンクール 0.2kg

## OTK-15C-SP

	(単位:/m <sup>2</sup> )
1	KYプライマー-エポ金属用 0.1kg
2	オルタックスプレーFF 1.5kg
3	OTコートクール 0.2kg

## OTK-20C-SP

	(単位:/m <sup>2</sup> )
1	KYプライマー-エポ金属用 0.1kg
2	オルタックスプレーFF 2.0kg
3	OTコートクール 0.2kg

## OTK-30C-SP

	(単位:/m <sup>2</sup> )
1	KYプライマー-エポ金属用 0.1kg
2	オルタックスプレーFF 3.0kg
3	OTコートクール 0.2kg

注意事項  
 ・OTコートシリコンクール、OTコートクールのほか、各種保護塗料が選択できます。29ページをご覧ください(塗料ごとに仕様番号、設計価格が異なります)。  
 ・金属屋根の塗料種類や劣化状態によって下地処理方法や使用プライマーが異なります。事前に接着試験を実施してください。  
 詳しくは弊社営業担当までご相談ください。特に塗り替えられた経歴のある屋根では必ず実施してください。  
 ・プライマーの選定については21ページをご参照ください。  
 ・ケレン処理、ボルト頭処理、高圧水洗浄、金属屋根のジョイント処理など、下地処理費用は別途となります。  
 ・降雪地域などでは金属屋根のジョイント部分にのみ、補強目的でスプレーの塗布量を増やす場合があります(2~3kg/m<sup>2</sup>程度)。  
 ・金属屋根のジョイント部分に口開きがある場合や、動きが想定される場合は、OTシールの代わりにプチルテープ(片面)を用いる場合もあります。  
 ・防水層を長持ちさせるためにOTコートQQ、OTコートクール、OTコートA、OTコート水系仕上げなどの場合は、保護塗料を7年程度で再塗布することをおすすめします。  
 ・厚みを増すため、スプレーの塗布量を増やす場合があります(2~3kg/m<sup>2</sup>程度)。

大勢の観客が歩行するスタンドに

## OGS-30HGQ-SP ~防滑仕上げ~



## OGS-30HGQ-SP

	(単位:/m <sup>2</sup> )
1	オルタックプライマー-E※1 0.2kg
2	オルタックスプレーFF 2.0kg
3	オルタックスプレーFF 骨材 0.3kg
4	オルタックスプレーFF 0.5kg
5	OTコートQQ 0.2kg

※立上り部は、工程3,4を省略した仕様にすることも可能です。  
 また、立上りをOTL-20Q-SPとする場合もあります。  
 ※1 オルタックプライマー-Eに代えて、下記の混合物を2層塗りする工法を用いることができます。  
 プライマー1層目 (OTプライマー-QQ+アジャストUの混合 質量比 3:2) (0.15kg/m<sup>2</sup>)  
 プライマー2層目 (OTプライマー-QQ+普通ポルトランドセメントの混合 質量比 4:1~3:1) (0.2kg/m<sup>2</sup>)

注意事項  
 ・OTコートQQのほか、各種保護塗料が選択できます。29ページをご覧ください(塗料ごとに仕様番号、設計価格が異なります)。  
 ・既存下地に防水層や塗り床材などがある場合には、それに適した下地処理とプライマーの選択が重要となります。事前に接着試験を実施してください。  
 詳しくは弊社営業担当までご相談ください。プライマーの選定については21ページをご覧ください。  
 ・下地となる構造体によっては、補強処理や絶縁テープなどを使用することがあります。詳しくは弊社営業担当にご相談ください。  
 ・観覧席の座席移設費用や保護塗料の色分けおよびマーキング費用は含まれておりません。  
 ・立上り面に凹部がある場合には、スプレーのピンホール防止として、プライマー硬化後に立上り用オルタック類にて目留め処理することをおすすめします。  
 ・金属製のスパイクシューズなどでの歩行は防水層を損傷する恐れがあります。ゴム底などの靴で歩行してください。  
 ・防水層を長持ちさせるためにOTコートQQ、OTコートクール、OTコートA、OTコート水系仕上げなどの場合は、保護塗料を7年程度で再塗布することをおすすめします。  
 ・歩行頻度が高い場合などは、保護塗料が摩耗します。早めの点検実施と保護塗料の塗替えをおすすめします。

